

博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 老年看護学分野

科目コード：250004

## 老年看護演習 I (慢性期看護) Advanced Seminar I in Gerontological Nursing

担当教員	川島 和代、牧野 智恵、紺家 千津子、木森 桂子、直井 千津子、関 利志子、田本 奈津恵、酒井 郁子、平松 知子、山田 正己、森垣こずえ				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	45		
Keywords	慢性期疾患ケアの本質、心不全高齢者、糖尿病高齢者、パーキンソン病高齢者、生活傷害アセスメント、生活リズム、栄養管理				
学習目的・目標	長期間の罹患経過のなかでセルフコントロールをしながら、代償機転が破綻した増悪期の高齢者に対し、ケアとケアの両方の視点から看護過程を展開して、高度な看護実践能力を養う。				

### 授業計画・内容

≪授業展開の方法≫

回	内容	授業方法	担当
1	高齢者における慢性期疾患・慢性期看護の概念を理解し、慢性期疾患の背景にある加齢変化の影響を考える。	講義	川島和代
2-3	慢性期における看護の概念を学ぶ (ミルトン・メイヤロフの「ケアの本質」(生きることの意味)の理解をもとに、再入院を繰り返す高齢者と家族のケアリングを考える)	講義	牧野智恵
4-5	1. 慢性期疾患を有する高齢者へのケアとケアが統合した看護方法を学ぶ	講義	関利志子
6-7	2. 糖尿病高齢者の臨床特性を学び、セルフケアを踏まえた専門的な看護を学ぶ	講義 実技	平松知子

8-9	3. パーキンソン病高齢者に対する専門的看護を学ぶ	講義・演習	田本奈津恵
10-13	生活障害のアセスメント、援助の実際を学ぶ	講義・演習	森垣こずえ
14-15	高齢者の生体情報を超音波診断装置（エコー）を用いて収集し、ケアに活用する方法について学ぶ	演習	木森佳子
16-17	高齢者の生活リズム調整における援助方法とその有効性について学ぶ。	講義	酒井郁子
18-19	高齢者の慢性期看護における栄養管理の特徴を理解し、高齢者の褥創における、最新のエビデンスとアセスメントと専門的ケアを学ぶ。	講義・プレゼンテーション	紺家千津子
20-21		講義・演習	山田正己
22	慢性期ケアにおける看護の課題について、文献から検討する。	討議	川島和代
教科書	酒井郁子編：超リハ学－看護援助論からのアプローチ、第1版、文光堂、2005 ミルトンメイヤロフ ケアの本質		
参考図書等	佐藤直子：専門看護制度－理論と実践、医学書院、1999 藤島一郎：脳卒中の摂食・嚥下障害 第2版、医歯薬出版、2000 瀬邦弘監修：せん妄－すぐに見つけてすぐに対応－、照林社、2002		
評価指標	講義参加度 30%、プレゼンテーション 40%、課題の取り組み 30%、 *4段階評価：大変積極的、まあまあ、普通、余り積極的でない		
関連科目	高齢者健康生活論、高齢者生活援助論、老化過程と病態、老年看護演習Ⅱ		
教員から学生へのメッセージ	長い生活暦の中で、慢性疾患と共に、家族と共に生きてきた高齢者の背景に目を向けながら、老人CNSや研究者の講義と自分の実践経験とを結びつけ、より高度な捉え方、看護方法を身につけてほしい。		